

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

「2000年1月1日より2023年8月31日」まで当科で胆嚢捻転として治療された31名の患者様を対象とします。

■ 研究課題名

「当院における胆嚢捻転31例の臨床病理学的検討」

■ 当院の研究責任者(所属)

関根 一樹 (消化器外科)

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

関根 一樹 (消化器外科)

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

・目的: 胆嚢捻転症は稀な疾患ですが、胆嚢炎と臨床症状を共有しており腹部救急の鑑別診断として重要な疾患です。以前は胆嚢炎での手術における術中所見で捻転と判明することが多かったですが、画像の進歩とともに術前診断が増えてきています。捻転により血流障害を起こす場合が多いため、原則として手術を行うことが適切と考えられています。

しかし、中には臨床症状や捻転により、自然に捻転解除に至る例もあり、保存的治療を行っている報告もあるのが現状です。本研究では、胆嚢捻転の臨床病理学的所見を比較し、胆嚢捻転の適切な治療法を検討することを目的とします。また臨床経過や画像所見を検討することで胆嚢捻転診断の精度向上の一助となれば、より意義のあるものとなると考えます。

・方法: 電子カルテに記載のある検査データ、診療記録を利用します。

・研究実施期間: 認証研究審査委員会承認日 2023年9月13日～2024年4月30日とします。

■ 研究に用いる試料・情報の項目

性、年齢、血液生化学的検査、術式、出血量、手術時間、輸血の有無、術後合併症、胆嚢病理結果、CT所見等とします。

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者(所属): 関根 一樹 (消化器外科)

電話: 04-7092-2211(代)